

## ② 水害発生が予想される際の警戒レベル

各地で大雨による川の氾濫、土砂災害による災害が発生する恐れがある場合、下の警戒レベルが発表されます。北海道駒ヶ岳の噴火警戒レベルと異なり、5段階のレベル4で避難指示が発令されます。この段階で、町民は避難を完了することが求められます。

そして、レベル5では、すでに災害が発生し、避難することが危険なため、屋内の安全な場所で命を守る行動をとってください。

警戒レベル	町の情報や対応	皆さんのとるべき行動	気象庁などの情報
1	職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報(警報級の可能性)
2	連絡要員を配置 発令判断体制を準備	ハザードマップなどで行動を確認しましょう(危険な区域や避難場所などを再確認)	大雨注意報、洪水注意報、高潮注意報、氾濫注意情報
3	<b>高齢者等避難</b>	高齢者などは速やかに避難しましょう(土砂災害警戒区域などや急激な水位上昇のおそれがある河川沿いに居住の方は、避難準備が整い次第、避難開始しましょう)	大雨警報、洪水警報、氾濫警戒情報
4	<b>避難指示</b>	避難を完了しましょう(道路冠水などで既に避難が困難となっている可能性があります。この状況になる前に避難を完了しましょう)	土砂災害警戒情報、高潮警報、高潮特別警報、氾濫危険情報
5 <b>危険大</b>	<b>緊急安全確保</b>	災害が既に発生しています。命を守るための最善の行動をとってください	大雨特別警報、氾濫発生情報

町からの発令に留意しつつ、必要だと感じたら「避難指示」が出なくても早めの避難行動をとりましょう。

### 自主防災について

災害が発生したとき、一人では何もできなくても、地域の人々が協力すれば大きな力になります。日頃から自主防災組織の活動に積極的に参加することが、自分や家族を守ることに繋がります。

### 防災情報

災害時には、町から各種情報を提供します。また、皆さんからの情報も速やかにお知らせください。

### 知人や友人の安否情報「災害用伝言ダイヤル171」

大規模な災害が発生した際に、被災地の方々が録音した安否情報を、その他の地域の親戚や友人などが「災害用伝言ダイヤルセンター」を通じて再生することができます。伝言の録音・再生は被災地の方々の自宅の電話番号、公衆電話、携帯電話・PHS(共に一部事業者を除く)を使って行います。

なお、利用にあたっての事前の契約などは不要です。

**171** をダイヤルし、ガイダンスに従ってください。

### 非常持出品

いざというときのため、普段から非常持出品を用意し、リュックサックなどに入れておきましょう。



- 非常食品3日分
- 水(目安3ℓ/日1人)
- 救急用品
- ラジオ・懐中電灯
- 衣類・タオル・マスク・ウェットティッシュ
- オムツなどの生活用品
- 現金・通帳
- 免許証や健康保険証のコピー

### 防災情報

- 北海道防災情報メール配信  
あらかじめ登録した携帯電話のメールアドレスに気象情報や避難情報を送信  
<http://i.bousai-hokkaido.jp>
- 緊急速報メール(エリアメール)  
NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクのサービスを利用し、町内にいる携帯ユーザーに対し、災害情報を配信します。
- 町ホームページ  
<http://www.town.shikabe.lg.jp/>
- Wi-radio(ワイラジオ)  
コミュニティFM 77.6MHz
- 防災行政無線  
聞き逃したときは再生スイッチで確認することができます。

